日生劇場 おけぴ観劇会 マップ♪

チームBLACK 出演者の皆さんのトリビアをご紹介

フランキー・ヴァリ役 中川晃教さん トリビア

藤岡さんトミーを絶対的な存在としてみているけれど「僕はトミーのパーティーには一度も顔を出さなかった」と言うフランキー。トミーは必ず「ヘイ皆んな飲みに行こう」的な、あるいは「パーティーしようぜ」的なことを言うのに対して、フランキーは「ぜひ」と応えておきながら行かなかったのはどうしてでしょうか……そこに行けば何が起こるか分かっていたんでしょうね……。

フランキーは「家庭」や「家族」というワードをよく使います。

「ツアー」や「ショー」という言葉もよく使います。

セットは高さがあって階段がとても揺れるためまあまあ怖いです。僕たちが本番でどこまで冷静を装えているか、ご注目ください！

トミー・デヴィート役 藤岡正明さん トリビア

今回の公演中で、僕は共演者をビンタしたり膝蹴りしたりと、とても荒々しい役を演じています（演出家に言われたわけではなく、自分で考えてやっているだけですが笑）。さらに、**ビンタするのか膝蹴りするのか、その日によって変化します。僕が演じるトミー・デヴィートが、一公演で何回ビンタや膝蹴りをするのか、そんなところもぜひ注目していただけたらと思います！**ともかく、新たに誕生した新生ジャージーボーイズをお楽しみいただければ幸いです！

ボブ・ゴーディオ役 東 啓介さん トリビア

チーム BLACK はコンサートバージョンから引き続き同じメンバーなので、すでにチーム感というか、それぞれの役割ができているように感じます。**誰よりもこの作品を理解されているアッキー（中川晃教）さんがいて、マサ（藤岡正明）さんも引っ張ってくれて。割とナチュラルにふざけたりしています（笑）。**役としての立ち位置、俳優個人としての立ち位置が融合したチームカラーをより色濃くしていきたいと思います。

（取材会より）

ニック・マッシ役 大山真志さん トリビア

スタッフさんから**「2階に上がるための可動式の階段は横への負荷がかかるとものすごく揺れるので稽古中からこの階段さんとお友達になってください」**と言われていました。

プロデューサーさんがあまりにもジャージー愛が強すぎて、通し稽古の時にジャージーボーイズコンサートのペンライトを1人でブンブン振ってます（笑）
そんなプロデューサーさんが大好きです♪

日生劇場をご紹介

日生劇場は1963年開場。
建築家・村野藤吾さんによる劇場で
劇場の中は壁も天井も全て曲面！
芸術品のようなこの劇場は
現代ではもはや再現不可能！

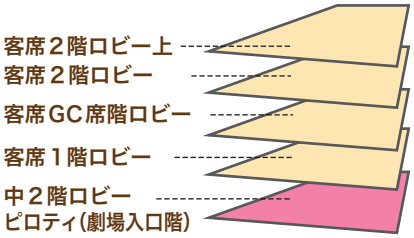
螺旋階段も素敵！

おけぴ会員オススメ 天井のアコヤ貝
劇場の天井にはアコヤ貝が使われています。
内装も楽しめる素敵な劇場です
（劇場建設のために淡路島から取り寄せられた２万枚のアコヤ貝）

おけぴ会員オススメ 壁のタイル
海をイメージしたような壁がとても美しく見惚れてしまいます
（手作業で埋め込まれたガラスのタイル）

おけぴ会員オススメ 劇場内に椅子が多い
ロビーに椅子がたくさん配置されているので、幕間もゆったりできるのが魅力のひとつだと思います

トイレをCheck!
- 1階は舞台下手側、GC階は下手側、2階は下手側にあります
- 1階、GC階、2階にあります



GOODSをご紹介！

ペンライト（1,800円）
カーテンコールの必需品☆
スイッチを押すと３色に変わります。
PURPLEがチーム BLACKイメージですよ♪

プログラム（2,000円）
撮り下ろし写真に、それぞれのチームの座談会、バンドメンバーの座談会まで盛りだくさん♪

刺繍ブローチ（BLACK／GREEN）（各2,800円）
蝶ネクタイがモチーフの可愛いブローチ
おけぴ管理人も当日つけてますよ♪

※内容は取材時点のものです。変更されている場合もありますことをご了承ください